



LaCie Rugged Secure ユーザーマニュアル



このドキュメントの最新オンライン版にアクセスするには
ここをクリックしてください。最新のコンテンツ、拡大可能な図解、分かりやすいナビゲーション、検索機能もあります。

Contents

1 はじめに	4
パッケージ内容	4
最低システム要件	4
• ポート	4
• オペレーティング・システム	4
• ディスクの最小空き容量	5
インテグレーション・プロテクション・レーティング	5
2 ケーブルとコネクタ	6
USB-Cプロトコル	6
USB 3.1 (USB-C) ケーブル	6
3 接続する	7
手順1 - USBケーブルを接続する	7
手順2 - LaCie Rugged SECUREを設定する	7
4 Toolkitを使用してセキュリティやバックアップなどの機能を設定する	9
セキュリティの有効化	9
ミラーフォルダの設定	9
バックアッププランの開始 (Windowsのみ)	9
5 iPad USB-Cに対応	10
6 フォーマットおよびパーティション (オプション)	12
ファイルシステムフォーマットの選択	12
• Windows と Mac の両方との互換性	12
• Windows 用にパフォーマンスを最適化	12
• macOS 用にパフォーマンスを最適化	13
• 詳細	13
フォーマット手順	13
7 よくある質問	14
全ユーザー	14
• 問題：セキュリティを有効化しようとしているが、セキュアコード (SID) を入力すると「コードが正しくありません」というエラーが表示される	14
• 問題：ファイル転送の速度が遅すぎる	14
• 問題：USB 3.0 (Type A) ポートが搭載された古いコンピュータを利用している	15
• 問題：USBデバイスにUSBハブを使用しなければならない。	15

• 問題：付属のUSBケーブルが短すぎる	15
• 問題：ファイル転送に関するエラーメッセージが表示される	15
Mac	16
• 問題：デスクトップにハードディスク・ドライブのアイコンが表示されない	16
Windows	16
• 問題：コンピュータにハードディスク・ドライブのアイコンが表示されない	16

はじめに

外出先での作業が多いクリエイティブ・プロフェッショナルのためのモバイル・ストレージ・ソリューション、LaCie Rugged SECUREは、自己暗号化技術で大切な知的財産をしっかりと保護します。さらに、Ruggedドライブが誇る耐落下性、耐雨性、耐衝撃性により、データを徹底的に守ることができます。

Rugged SECUREを設定して、AES-256 ハードウェア暗号化でデータを安全に保存する方法については、本ユーザーマニュアルをご覧ください。

お使いのハードディスク・ドライブについての一般的な質問と回答は、[よくある質問](#)をご覧ください。また、[LaCieカスタマー・サポート](#)にアクセスしてください。

パッケージ内容

- LaCie Rugged Secure
- USB 3.1 Gen 2 (USB-C) ケーブル
- クイックスタートガイド
- セキュアコード (SID) とリセットコード (PSID) が記載された別紙



重要 - 購入時の梱包材は保管しておいてください。ハードディスク・ドライブに問題が生じて交換が必要になった場合、ハードディスク・ドライブを元の梱包材に入れて返送する必要があります。

デバイスのセキュアコードとリセットコードが記載された別紙も保管しておくことをおすすめします。セキュアコードはデバイスのセキュリティを最初に有効化するときに必要です。リセットコードはデバイスを工場出荷時の設定にリセットする必要がある場合に必要です。注：別紙がお手元がない場合は、ハードディスク・ドライブの保護バンパーの内側のシールに記載されたコードをご確認ください。

最低システム要件

ポート

付属のケーブルを使用して、USB-CポートでLaCieデバイスとコンピュータを接続します。

オペレーティング・システム

[Seagateのハードウェアとソフトウェアのオペレーティング・システム要件](#)をご覧ください。

ディスクの最小空き容量

600MB推奨。

インGRESS・プロテクション・レーティング

インGRESS・プロテクション (IP) レーティングは、設備やデバイスがどの程度保護されているかを定める規格です。IPの2桁のコードから、デバイスがどのような環境に耐えられるのかを判断することができます。2桁の数字はそれぞれが保護等級を示しています。

LaCie Rugged SECUREの等級はIP 52です。

5 : デバイスの内部機構に塵が入らない。

2 : 鉛直から15度の範囲で落ちてくる水滴による有害な影響がない。

また、LaCie Rugged SECUREは1.2m以下の距離から落下した場合においても有害な影響を受けません（動作モードでない場合）。

ケーブルとコネクタ

USB-Cプロトコル

USBは、周辺機器とコンピュータを接続するためのシリアル入出力技術です。USB-Cはその最新の規格であり、高帯域幅と新たな電源管理機能を提供します。

USB-Cは数多くのプロトコルに対応しています。

Thunderbolt 3	最高転送速度40Gb/秒
USB 3.1 Gen 2	最高転送速度10Gb/秒
USB 3.1 Gen 1	最高転送速度5Gb/秒
SuperSpeed USB 3.0	最高転送速度5Gb/秒
Hi-Speed USB 2.0	最高転送速度480Mb/秒

LaCie Rugged SECUREIに搭載されているUSB-Cポートは、USB 3.1 Gen 1です。お使いのRugged SECUREIは、コンピュータのUSB-Cポートに接続できます。

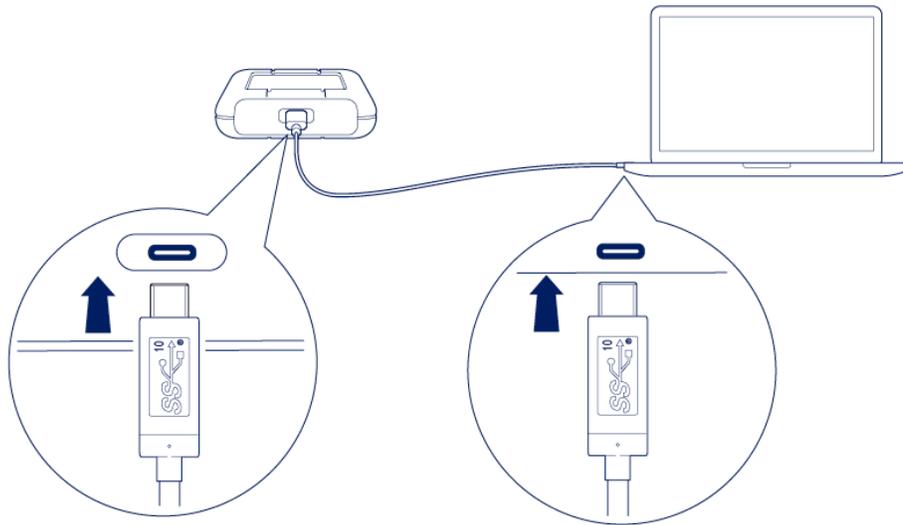
USB 3.1 (USB-C) ケーブル

USB 3.1 (USB-C) ケーブルを使用して、LaCie Rugged SECUREIをコンピュータのUSB-Cポートに接続します。



接続する

手順1 - USBケーブルを接続する



手順2 - LaCie Rugged SECUREを設定する

Toolkitアプリをインストールするにはインターネット接続が必要です。

1. ファイルエクスプローラやFinderなどのファイルマネージャーを使ってLaCie Rugged SECUREを開き、[Start Here Win (Windowsはこちらから)] または [Start Here Mac (Macはこちらから)] を開きます。



2. 画面上の指示に従ってデバイスを登録し、Toolkitアプリをインストールします。ここで、LaCie Rugged SECUREのセキュリティを有効化する必要があります。



Toolkit は、LaCie Rugged SECUREのセキュリティを有効化するために必要です。Seagate Secure 256ビット暗号化を使用してこのデバイスをパスワード保護するには、必ずToolkitをインストールしてください。

Toolkitを使用してセキュリティやバックアップなどの機能を設定する

Toolkitには、セキュリティを管理したり、バックアップ計画やミラーフォルダを簡単に設定したりできる便利なツールがあります。

セキュリティの有効化

ToolkitはLaCie Rugged SECUREのセキュリティを有効化するために必要です。Seagate Secure 256ビット暗号化を使用してこのデバイスをパスワード保護するには、必ずToolkitをインストールしてください。

- セキュリティの有効化の詳細については、[こちらをクリック](#)してください。

ミラーフォルダの設定

ストレージデバイスと同期しているPCまたはMacでミラーフォルダを作成することができます。フォルダ内でファイルの追加、編集、または削除を行うと、Toolkitがその変更をもう一方のフォルダに自動で反映します。

- [こちらをクリック](#)してミラーフォルダの詳しい作成方法をご覧ください。

バックアッププランの開始（Windowsのみ）

コンテンツ、ストレージデバイス、希望のスケジュールに合わせてカスタマイズプランを作成することができます。

- [こちらをクリック](#)して、バックアッププランの詳しい設定方法をご覧ください。

iPad USB-Cに対応

LaCieストレージ・デバイスはハイエンドiPadにご使用いただけます。コンピュータやクラウド・サービス、外付けストレージの間でファイルを簡単に転送できます。iPadは優れたモバイル編集ステーションでもあり、メディアを高度な画像・動画アプリにインポートすることができます。

以下に関する詳細は[外付けストレージおよびiPadOS](#)をご覧ください。

- 互換性のあるiPadへのストレージの接続
- 実行可能な操作
- 複数の項目の選択
- アプリ内からストレージ・デバイスへのアクセス
- 対応している外付けストレージ・デバイスおよびUSBハブ
- iPadとコンピュータでの外付けストレージの性能の違い
- Thunderboltストレージ・デバイス
- バッテリーの使用
- 取り出し
- 保存形式
- パスワード保護
- Toolkitおよび初回接続

フォーマットおよびパーティション (オプション)

デバイスは、Mac および Windows の両方のコンピュータと互換性を持つように、あらかじめ exFAT (Extended File Allocation Table) 形式でフォーマットされています。

ファイル システム フォーマットの選択

ファイル システム フォーマットを選択する際には、日常のドライブの使用で互換性とパフォーマンスのどちらが重要であるかを考慮してください。

- 互換性 – ドライブを Windows PC と Mac の両方に接続できるようにするため、クロスプラットフォームのフォーマットが必要です。
- パフォーマンス – 一方の種類のみコンピュータとドライブを接続する場合は、そのコンピュータのオペレーティング システムのネイティブ ファイル システムでドライブをフォーマットすることによってファイル コピーのパフォーマンスを最適化できます。

Windows と Mac の両方との互換性

exFAT は、Windows のすべてのバージョンおよび macOS の近年のバージョンと互換性のある、動作の軽いファイル システムです。ドライブを Windows PC と Mac の両方で使用する場合は、exFAT でドライブのフォーマットを行ってください。exFAT は両方のコンピュータでクロスプラットフォームのアクセスが可能ですが、以下の点にご留意ください。

- exFAT は、ファイル履歴 (Windows) や Time Machine (macOS) のような標準搭載のバックアップ ユーティリティには非対応であり、推奨されません。上記のいずれかのバックアップ ユーティリティを使用する場合は、ユーティリティを実行するコンピュータのネイティブ ファイル システムでドライブのフォーマットを行う必要があります。
- exFAT は、ジャーナリングされたファイル システムではないため、エラーが発生した場合、あるいはドライブをコンピュータから不適切に取り外した場合に、データ破損のリスクが高くなります。

Windows 用にパフォーマンスを最適化

NTFS (New Technology File System) は、Windows の独自のジャーナリング ファイル システムです。macOS は NTFS ボリュームを読み取ることはできますが、ネイティブに書き込むことはできません。このため、Mac では NTFS フォーマットのドライブからファイルをコピーすることはできますが、ドライブにファイルを追加したりドライブからファイルを削除したりすることはできません。このような Mac での一方向のみの転送よりも汎用性が必要な場合は、exFAT の使用を検討してください。

macOS 用にパフォーマンスを最適化

Apple には 2 種類の独自ファイル システムがあります。

Mac OS 拡張 (Hierarchical File System Plus や HFS+ と呼ばれます) は、機械式およびハイブリッドの内蔵ドライブ向けに 1998 年から使用されている Apple のファイル システムです。macOS Sierra (バージョン 10.12) 以前では、HFS+ がデフォルトで採用されています。

APFS (Apple File System) は、ソリッドステート ドライブ (SSD) やフラッシュメモリベースのストレージ システム向けに最適化された Apple のファイル システムです。ハード ディスク ドライブ (HDD) にも対応しています。APFS は macOS High Sierra (バージョン 10.13) のリリースに伴って初めて導入されました。APFS は、High Sierra 以降の Mac のみで読み取り可能です。

Apple の各ファイル システムからいずれかを選択する際は、次のことを考慮してください。

- Windows は APFS や HFS+ ボリュームをネイティブに読み書きすることができません。クロスプラットフォームの互換性が必要な場合は exFAT でドライブのフォーマットを行ってください。
- ドライブを Time Machine で使用したい場合:
 - macOS Big Sur (バージョン 11) 以降のデフォルト フォーマットは APFS です。
 - macOS Catalina (バージョン 10.15) 以前のデフォルト フォーマットは HFS+ です。
- ドライブを使用して旧式の OS バージョンの Mac でファイルを移動する場合は、APFS ではなく HFS+ でドライブのフォーマットを行ってください。
- macOS のファイル システムと Android: macOS 向けにドライブをフォーマットすると、Android モバイル デバイスとの接続に対応しなくなる可能性があります。

詳細

ファイル システム フォーマットを選択する際のその他の考慮事項については、[ファイル・システム・フォーマットの比較について](#)を参照してください。

フォーマット手順

ドライブのフォーマットの手順については、[ドライブをフォーマットする方法](#)を参照してください。

よくある質問

LaCieハードディスク・ドライブの設定や使い方については、以下のよくある質問をご覧ください。さらにサポートが必要な場合は、[LaCieカスタマー・サポート](#)にお問い合わせください。

全ユーザー

問題：セキュリティを有効化しようとしているが、セキュアコード (SID) を入力すると「コードが正しくありません」というエラーが表示される

質問：大文字を正確に入力しましたか？

回答：セキュアコード (SID) では大文字と小文字が区別されます。同梱の別紙で大文字で表示されている文字は、Toolkitでも大文字で入力する必要があります。

質問：ドライブのフォーマット後にセキュリティを有効化していますか？

回答：セキュリティを無効化してからドライブをフォーマットした場合は、セキュリティの設定手順をもう一度やり直す必要があります。セキュアコード (SID) の入力を求められますが、**最初にセキュリティを有効化したときに作成したパスワードを入力してください**。同梱の別紙に記載されているセキュアコードではありません。

問題：ファイル転送の速度が遅すぎる

質問：USBケーブルの両端はしっかりと接続されていますか？

回答：以下のケーブル接続に関するトラブルシューティングのヒントをご覧ください。

- USBケーブルの両端が各ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。
- ケーブルを取り外し、10秒経ってから再度接続してください。
- 別のUSBケーブルで試してください。

質問：同じポートまたはハブに他のUSBデバイスが接続されていませんか？

回答：他のUSBデバイスを取り外して、ハードディスク・ドライブの性能が改善されるかどうかを確認してください。

問題：USB 3.0 (Type A) ポートが搭載された古いコンピュータを利用している

質問：ハードディスク・ドライブのUSB 3.1 Gen 1ポートは、コンピュータのUSB 3.0ポートに対応していますか？

回答：はい、デバイスはUSB 3.0ポートに対応しています。ただし、USB Type Aコネクタを備えたケーブルは製品には付属していません。また、USB 3.0では、転送速度は大幅に遅くなります。

問題：USBデバイスにUSBハブを使用しなければならない。

質問：USBハブでこのハードディスク・ドライブを使用できますか？

回答：はい、ハードディスク・ドライブはUSBハブに接続できます。ハブを使用していて検出できない、転送速度が通常よりも遅い、パソコンとの接続がランダムに切れるなどの問題が発生する場合は、パソコンのUSBポートに直接ハードディスク・ドライブを接続し直してみてください。

USBハブの中には電源管理効率の悪いものがあり、接続したデバイスで問題を引き起こすことがあります。このような場合は、電源ケーブルが付属している電源付きUSBハブを使用してみてください。

問題：付属のUSBケーブルが短すぎる

質問：ハードディスク・ドライブにもっと長いケーブルを使用できますか？

回答：はい、できます。USBの規格に従って認証されているものをお使いください。ただし、LaCieでは、ハードディスク・ドライブに付属しているケーブルをご使用になることをお勧めしています。長いケーブルを使用していて、検出や転送速度、切断の問題が発生する場合は、ハードディスク・ドライブに付属している純正ケーブルをご使用ください。

問題：ファイル転送に関するエラーメッセージが表示される

質問：FAT32ボリュームのコピー中に「エラー-50」が表示されましたか？

回答：パソコンからFAT32ボリュームにファイルまたはフォルダをコピーする場合、ファイル名またはフォルダ名としてコピーできない文字があります。コピーできない文字には以下のようなものがありますが、これらに限定されません：?、<、>、/、\、:

ファイル名やフォルダ名にこれらの文字が含まれていないことを確認してください。

問題が繰り返し起こる場合や、対応していない文字を含むファイルがないにもかかわらずエラーが生じる場合は、ドライブをNTFS（Windowsユーザーの場合）またはHFS+（Macユーザーの場合）に再フォーマットしてください。[最適なフォーマットおよびパーティション作成](#)を参照してください。

質問：スリープモードから復帰した際にドライブが切断されたという内容のエラーメッセージが表示されました

か？

回答：ドライブは再マウントされているため、このメッセージは無視してください。パソコンをスリープモードに設定すると、LaCie ドライブはスピンドウンすることで消費電力を抑えます。パソコンがスリープモードから復帰すると、ドライブがスピンドアップする時間がないため、このポップアップメッセージが表示されます。

Mac

問題：デスクトップにハードディスク・ドライブのアイコンが表示されない

質問：デスクトップにハードディスク・ドライブが表示されないように [Finder] が設定されていませんか？

回答：[Finder] を開いて、[環境設定] > [一般] タブ > [次の項目をデスクトップに表示] の順に進みます。[ハードディスク] が選択されていることを確認してください。

質問：オペレーティング・システムにハードディスク・ドライブがマウントされていますか？

回答：[開く] > [ユーティリティ] > [ディスクユーティリティ] の順に進み、[ディスクユーティリティ] を開きます。左列にハードディスク・ドライブが表示されていたら、Finderの環境設定で、なぜデスクトップに表示されないのかを確認します（上記の質問を参照）。

質問：お使いのパソコンの設定は、このハードディスク・ドライブを使用するための最低要件を満たしていますか？

回答：サポートされているオペレーティング・システムの一覧は、製品パッケージを参照してください。

質問：お使いのオペレーティング・システムの手順に従って正しくインストールしましたか？

回答：「[接続する](#)」のインストール手順を参照してください。

Windows

問題：コンピュータにハードディスク・ドライブのアイコンが表示されない

質問：デバイスマネージャーにハードディスク・ドライブは表示されていますか？

回答：すべてのドライブがデバイスマネージャーの少なくともどこか一箇所に表示されます。

検索に [デバイスマネージャー] と入力して検索します。[ディスクドライブ] のセクションを探し、必要に応じてプラス (+) アイコンをクリックしてデバイスの全一覧を開きます。探しているドライブが表示されているかどうか分からない場合は、ドライブを安全に取り外してから、もう一度接続し直してみてください。そこで変更される項目がお使いのLaCieハードディスク・ドライブです。

質問：ハードディスク・ドライブの横に見慣れないアイコンが表示されていますか？

回答：Windowsデバイスマネージャーには通常、周辺機器の故障に関する情報が表示されます。デバイスマネージャーはほとんどの問題のトラブルシューティングに役立ちますが、詳しい原因や解決方法が表示されないこともあります。

ハードディスク・ドライブの横に見慣れないアイコンが表示されている場合は、問題が発生している可能性があります。例えば、デバイスタイプに基づく通常のアイコンではなく、「！」マークや「？」マーク、あるいは「X」が表示された場合は、そのアイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。[全般] タブに、デバイスが正常に動作していない理由が表示されます。